

## 宇都宮市立御幸が原小学校第4学年児童質問紙調査

### ★傾向

○学習への取り組み全般については、家庭学習において、「家で、学校の授業の復習をしている。」の肯定的回答は60.7パーセントで市平均を4.9ポイント上回っている。「家で、学校の授業の予習をしている。」の肯定的回答も、市平均より上回っており、児童が進んで家庭学習に取り組んでいる様子が見えてくる。

○授業では、「友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意だ。」の肯定的回答は53.6パーセントで市平均をやや上回っており、また、「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。」の肯定的回答も、市平均より若干下回っているが、県平均を上回っている。授業に対して積極的に参加しようとする意欲が見えてくる。

○学校外の活動では、「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。」の肯定的回答は56.7パーセントで市の平均を9.0ポイント上回っている。育成会の活動や夏休みの盆踊り、秋の地域祭りなどの活動が毎年行われているため、ボランティア活動に対する児童の意識が高いことが見えてくる。

●1日あたりの家庭学習の時間は、「30分以上1時間より少ない。」の割合が高く、「30分より少ない。」「全くしない。」の割合は市や県の平均よりも多い。また、休みの日の家庭学習の時間も「1時間以上2時間より少ない。」の割合が、市や県の平均よりも少ない。その上、「全くしない。」の割合が、市や県の平均よりも多くなっている。また、「テストで間違えた問題について勉強している。」の肯定的割合も市や県の平均よりも低い傾向があり、学校で学習したことを定着させるための家庭学習の取り組み方を考えていく必要がある。